

はくしま

こうだかつこ 様作

2013年10月1日 第74号
 発行人：前田 比呂志
 発行：特別養護老人ホーム白島荘
 〒562-0012 箕面市白島3-5-1
 TEL：072-724-5511
 FAX：072-720-2054
 ホームページ：http://www.osj.or.jp
 メール：hakusima@hcn.zaq.ne.jp



副施設長
石崎 剛

4月1日付けで、副施設長を拝命いたしました「石崎」です。まだまだ職務に不慣れな部分も多く、皆様にはご迷惑をおかけすることがあるかとは思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

去る6月23日に仮住まい先への引越しを行いました。当日は当法人の施設職員が約70名、その他を合せて100名を超えるボランティアの皆様のご協力のもと事故なく無事に引越しを終えることができました。一施設の引越しにこれだけのボランティアが集まることができる法人の団結力に改めて驚かされました。

さて、平成25年度も早いもので猛暑の夏が過ぎ下半期を迎えています。白島荘では法人の実践的理念「よりそう想い つながる心」の精神のもと、平成25年度の事業計画として、(1)介護・生活支援サービスの向上(2)経営基盤の安定に向けた取り組み(3)人材の育成と確保(4)地域社会における施設の役割と連携の4点について取り組んでいるところです。

特に人材育成と確保について、9月より来年8月まで全職員を対象として、全5回の「ユニットケア研修」を開始しています。この「ユニットケア研修」は、今までの多数の利用者を多数の職員で介助するという従来型と言われる介助方法から、10人グループのユニットを少数の同じ職員が介助方法(ユニットケア)へ移行していく為に必要な研修となります。

また、ステップアップ事業として、「仮住まい先による、重大事故ゼロ」という目標を掲げ、各部

署から安全管理委員を選出し仮住まい先でのリスクアセスメントを実施しています。現在、階段前の柵の設置や浴室への段差解消等、28箇所の重大危険箇所について改善を実施しました。今後も、入所者はもちろんのこと家族や職員についても、重大事故を回避できるように環境の整備に努めていきます。

現在、白島荘において指定管理委託を受けている箕面市立光明の郷ケアセンターの指定期間が平成26年3月31日で終了となります。引き続き、老人デイサービス・小規模多機能型居宅介護「ひねもす」・地域活動支援センターを実施していく為、平成26年度からの指定管理取得に向け箕面市への応募を行いました。

最後となりましたが、白島荘建替え工事も解体工事が終了し南側部分から新築工事が開始されています。引き続き、騒音等ご不便をおかけすることがあると思いますが、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

建替えの様子については、ブログ「白島荘はどのように生まれ変わっていくんだろう・・・」を随時アップしています。

白島荘ブログ 建替え

で検索またはQRコード



ようこそ 白島荘へ

西井富子です。趣味はいろいろしていました。楽しく過ごしたいと思っています。どうぞ宜しくお願いします。

中井つゆ子です。ようやく白島荘に来て慣れてきました。皆さん声を掛けて下さいね。

西井 富子様

元気なうちは、勝手に過ごしてきました。自分が不自由になりますと、皆さんにお手伝いして頂かなければなりません。皆様どうぞよろしくお願い致します。

堀尾 貞子様

この施設は素晴らしいです。安心してお願いする事ができます。皆様どうぞよろしく。

松井 信子様

ショートを以前から利用していました。皆さん宜しくお願いします。

井村 ミサ子様

茶道をやっている表千家の最高位を持っています。どうか宜しくお願いします。

祝 タネ様

皆さま、こんにちは。わからないことばかりですが、これからよろしくお願い致します。

吉田 トシ子様

介護科おもちゃ話

夏も終わり、肌寒い季節になりました。皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

白島荘では、毎年 8 月に盆踊りを開催しております。今年は6月の引越しで、例年とは違う場所で盆踊りを開催しました。引越しして間もなく行われた為、職員皆で試行錯誤しながら準備を行いました。毎年、お子様が楽しめるモノがないという事で、今年は千本クジ、輪投げを設置しました。準備段階では「来てくれるかな～」と心配していましたが、当日は、利用者のお孫様や地域から来られたお子様などたくさんの方が、千本クジ、輪投げを楽しんで下さいました。欲しい商品の為に何度も挑戦される方もおられ設置させていただいた甲斐がありました。食べ物、飲み物コーナーでは売り切れる食べ物や飲み物があり好評でした。懐かしいメロディを口ずさむ方や中央で踊っておられる方などそれぞれ楽しんでおられました。なか

なかに外に出る機会が少ない利用者は、「なつかしいわ～」「楽しかった。ありがとう。」等、楽しそうに参加されていました。ボランティア様には昼間の暑い時間から夜遅くまで設営、着付け、販売等手伝って下さり、スムーズに行事を進める事ができました。

季節を感じる事が難しい施設の中での生活で、行事を通して季節を感じていただき、昔を思い出して楽しんでいただく事が出来たと思います。今後も様々な行事を考えておりますので、利用者にとって有意義なひと時になるよう精進してまいります。



医務室だより

「咳が長く続く」「身体がだるい」「微熱が続く」こんな症状はありませんか？
 近頃、若いタレントさんが「結核」で休業されているニュースもありました。
 「結核」はもう昔の病気ではありません。

大阪は他府県に比べ結核の発生率が高いそうです。症状は風邪の症状と似ています。2週間以上咳や痰が続く場合は「結核」を疑い病院へ受診しましょう。

自分が感染していると気づかない間に他人にうつす事があります。自分を守る為、「結核」を蔓延させない為にも定期的に胸のレントゲンを受けましょう。

白島荘では年に1回利用者の胸部レントゲン健診を行なっています。今年は10月1日に行ないました。

異常のある方に対しては個別にお電話にてお知らせしております。ご質問等がございましたら、お気軽に医務までご連絡下さい。



栄養科だより

利用者が食べやすい 粥のミキサー形状の検討

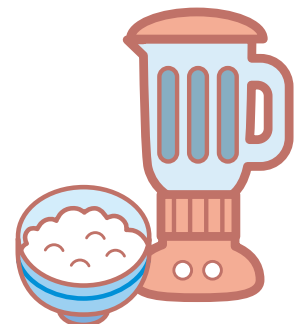
当施設では、摂食嚥下機能が低下して食事形態の調整が必要な利用者に対して、主食や副食をミキサーで攪拌して提供しています。主食はミキサーの中に全粥とスベラカーゼ（株式会社フードケア）を入れた後に攪拌します。主食をミキサーにかけたものを「粥プリン」や「粥ゼリー」等と施設によって様々な名称がありますが、当施設では「粥ミキサー」と呼んでいます。

全粥のみミキサーに入れて攪拌した粥ミキサーは、口腔内でべたつく感覚があり、摂食嚥下機能が低下している利用者は飲み込みにくく、嚙食していると唾液によって炭水化物が分解され、全粥のさらさらの水分が多くなるという問題点があります。しかし、スベラカーゼという粉末を混ぜた粥ミキサーは、特殊な酵素の作用により食品のべたつき感や唾液による影響を抑えられて、食べやすい形状となります。

そこで、より食べやすい粥ミキサーを提供するために、全粥とスベラカーゼの添加量の割合の検討を武庫川女子大学の食物栄養学科の実習生2名とともに行いました。粥の重量に対して1.5%、2.0%のスベラカーゼを添加したサンプルと、粥の重量に対して20%の熱湯を加えた（1.5%、2.0%スベラカーゼ添加）サンプルの合計4サンプルを作成して、食べやすさを検討しました。

その結果、粥の重量に対して1.5%のスベラカーゼを添加（熱湯の追加なし）の粥ミキサーがもっとも食べやすいと判断しました。また、スベラカーゼの添加量が多くなり過ぎると、粥が団子状になり、粥の滑らかさがなくなることが今回の実験でわかりました。この実験結果を調理担当者の全員で共有して、適正なスベラカーゼの添加量で調理するように再度周知致しました。

利用者が安全でおいしく食べやすい食事を提供することを常に心がけて、これからも食事の質の向上に取り組んで参ります。



グループホーム
「華の家」通信



華の家近況

永寿園に引越ししてから3ヶ月が経ち、今年の猛暑も何とか皆さんと共に乗り切ってきましたが、「華の家」で一番なくらい元気に生活されていた方が8月初めに急に体調を崩されることがあったり、環境変化に戸惑い居場所を見つけにくくなった方など想像していた以上の変化がありました。そのような中で8月下旬には地域住民の方にも参加頂き夜間想定避難訓練を実施することができました。

これから約1年間をこちらで安全にかつ快適に過ごす為にスタッフ一同、工夫を凝らしながら業務に邁進し、そして今後も利用者一人一人の生活を大切に紡いでいきたいと思ひます。10月中旬には「寄せ植え教室」を12月初旬には「音楽会」を開催する予定です。是非お立ち寄り下さい。



ヘルパーは利用者の在宅生活を支えるのが仕事です。

以前何人かのご家族に「ヘルパーに求める資質はなんですか？」とお聞きしたことがあります。優しさや包容力かな？と勝手に思っていたら、「観察力」を挙げられた方が多かったです。

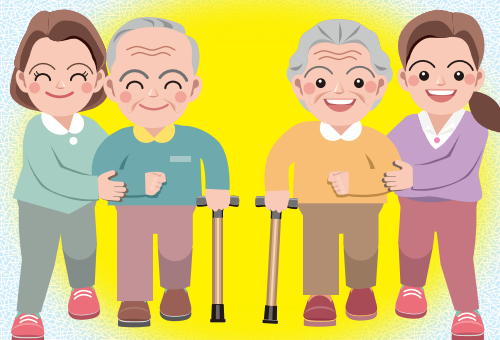
いつもと様子が違う。皮膚が赤くなりかけている。等々見つけてもらって助かります。と、言っていました。そしてプロとして信頼しています。と、嬉しい言葉を頂きました。そのプロが、後継者不足に悩んでいます。「ベテランヘルパーが多いです！」と自慢してきましたが裏を返せば、若い人にとって魅力ある仕事に見えていないという事です。そこで、ヘルパーの魅力を少々。

先にも挙げたように、観察や気づきが大切で、掃除や調理でも自分で考え工夫する楽しい仕事です。その結果利用者が元気になったら、笑ってくれたら感動できます。そして、多くの場合「ありがとう」という感謝の言葉を頂けます。

感謝・感動・気づき・工夫の4Kの仕事だと教わったことがあります。仕事してお客様から「ありがとう」の言葉を頂けるなんて、素敵な仕事だと思いませんか？

そんな仕事を少しでも多くの若い人に目指してもらうためにも、おばちゃんヘルパー達もプロとして凛とした仕事をしていきます。

はくしまヘルパー



光明の郷ケアセンター新聞

高齢者デイサービスの紹介

現在デイサービスでは「柔道整復師によるマッサージ」と「時短利用サービス」を開始しご好評いただいております。時短利用は3時間以上5時間未満の短い時間です。「お風呂と昼食」や「昼食とレクリエーション」などお好きなサービスとご希望の時間帯をチョイスして利用者・家族の都合に合わせてご利用いただけます。

マッサージは近隣にて開業されているプロの柔道整復師が午前中に皆様の希望の有無を確認し13時から16時までの間に一人ずつ柔道整復師の先生とお体の相談をしながら行っています。実際にマッサージを受けている利用者からは「気持ちがいいわ」「ゆっくり話を聞いてくれて体も心も癒されます」など好評をいただいております。5人の柔道整復師の先生が日替わりで来てくださるので利用者の中では好きな柔道整復師の先生の曜日を利用する人もいます。ぜひ無料一日体験して頂き、体感して頂ければと思います。気軽に質問や無料体験のお問い合わせ下さい。心よりお待ちしております。



小規模多機能「ひねもす」

小規模多機能居宅介護事業所「ひねもす」では、4月より毎月「ひねもすだより」を発行しております。ひねもすでの日々の取り組みや行事の案内などもさせて頂いております。また、皆様は手先が器用な方が多く、熱心に季節の壁画作りに取り組みれたり、ゲームを楽しんでおられます。一人一人の思いを大切に、「自分らしく」生活できるよう、寄り添いながら取り組んでいます。ひねもすの見学・無料体験は随時行っておりますのでお気軽にお問い合わせ下さい。



地域活動支援センターの紹介

創作活動を毎日盛んに行っています。
10月20日(日)のケアセンターまつりに向けて急ピッチです。今年のテーマはリサイクル。ペットボトルでゲームボードを作ったり、今年話題の富士山を作成しました。富士五湖、白糸の滝もあります。(実物を是非に見に来てください。)
また、キャップを使ってイルカやミッキーマウス、なども作っています。まつり当日をお楽しみに!
また、7月より第2・4土曜日午後1時から3時に3階にて無料喫茶「フレンド」を地域に向けて開店しています。色んな交流の場になればと思っています。仲間たちの元気のよい挨拶の音が響いていますので是非お越しください。お待ちしております。



ショートステイ 便り

今回は白島荘ショートステイのご紹介をさせて頂きたいと思えます。白島荘ショートステイは家族にもやさしいショートステイをコンセプトに掲げ、利用者・家族共に満足していただけるようなサービスを目指しています。その為、持ってきて頂くお荷物は最小限に



抑えられるように工夫させて頂いており、白島荘から日常生活上の必要品の貸出し（希望者のみ）を行っています。

ショートステイの際、短期間の泊まりであっても荷物をまとめ始めるとかさばったり、必要品が揃わなかったりと面倒な手間がかかってしまうことがあると思えます。また、ショートステイの為に必要品を購入したりすることもあると思えます。しかし白島荘では、お薬など個人でしか使用できないもの以外は、全面的に貸出しをさせて頂いております。

利用者・家族のニーズに合わせ、荷物の調整ができる。それが白島荘ショートステイの目指す家族にもやさしいショートステイの形の一つとしています。

利用者にはご自宅でご過ごして頂けるようなアットホームな雰囲気を提供させて頂き、レクリエーションやクラブ、行事があれば参加して頂き、他の利用者や職員と楽しい時間を過ごして頂けるようにしています。また、それらのご様子を白島荘ブログにて公開させて頂いております。個人情報保護の観点から家族の了承を得てからの掲載という形にはなりますが、白島荘のホームページを閲覧して頂くことにより、利用期間中のご様子が把握出来ることは家族への安心感に繋がるのではないかと考えております。



現在白島荘は建替え工事中であり、新しい施設に生まれ変わります。職員も接遇向上に力をいれ、質の高いケアを目指し、新天地で白島荘がより良い施設となるために日々努めておりますので、この機に白島荘に足を運んで頂けたらと思えます。

敬老祝賀会

今年度の敬老祝賀会は9月17日に行われました。今年度は仮住まい先の永寿園で午前には式典がありました。普段の雰囲気とは違うからか、利用者の中にはソワソワされる方がいらっしゃいましたが箕面市や当法人、大阪府社会福祉事業団からの祝い品贈呈の時には大変喜んで頂き無事式典を終える事ができました。昼食は、祝い膳として天ぷら、赤飯などを皆さん美味しく召し上が



っておられました。午後からは毎年、西川きよし様、ヘレン様、バンドの方々に来ていただいているのですが、今年のご都合により日をずらしての来荘となり当日は西川様の代わりには烏滸がましいのですが、白島荘の職員で演芸会として2人羽織、寸劇と踊りを披露させていただきました。練習不足もありお見苦しい箇所もあったかと思えますが職員一同楽しんで頂けるよう頑張っておりました。演芸会後には家族より「楽しかったよ」「またやってね」と温かいお言葉を頂きました。その後の反省会では職員一同「いつかリベンジを…」と反省しました。

今年の11月には西川きよし様、ヘレン様、バンドの方々が白島荘へ来荘予定ですので、それまで皆様お楽しみにして下さい。

編集後記

暑い夏がすぎ、白島荘でも夏の行事が終了しました。これからは秋の紅葉シーズンですね。次回機関紙では紅葉狩りなど秋らしい取組みをご紹介しますと思います。

これから寒くなっていきますので皆様お体ご自愛ください。

白島荘広報編集委員

